

平成30年度 事業報告書

公益財団法人鍋島報効会

当会は佐賀県下における文化及び教育の振興に資し、かつこれを奨励助成するとともに社会事業に貢献することを目的としており、目的達成のため以下の4つの事業を行った。

公1〔I〕 徴古館の運営（定款第4条第1項第1号に定める事業）

(1) 展示公開事業

1) 企画展

本年度は「肥前さが幕末維新博覧会」関連展示を、1階はひなまつり終了後4月16日から、2階部分は前月3月17日から下記の展覧会を開催した。

第84回展「幕末明治の鍋島家一大名から侯爵へ」

平成30年3月17日(月)～平成31年1月14日(月)(年末年始を除き無休)

入館者数:18,092名。

佐賀藩を治める大名から、皇室を支える華族(侯爵)へ。鍋島家伝来品でたどる、幕末・明治の鍋島家ご一家の歴史。上記会期中、第1期(4/16～6/15)第2期(6/16～8/24)第3期(8/25～11/5)第4期(11/6～31年1/14)の4期に分けて一部の常設展示を除き展示替えを行った。徴古館1・2階を利用したことにより、大パネルの作成・展示で歴史の理解を助けた。

第85回展「鍋島家の雛祭り」

平成31年2月11日(月)～3月31日(日) 入館者数:10,597名

「第19回佐賀城下ひなまつり」の一環として、侯爵鍋島家歴代夫人が愛しんだおひなさまのほか、鍋島家と皇室・皇族、華族との関わりを示す慶事の小箱「ボンボニエール」100点以上特別展示し、人気を博した。

2) イベント

①第8回香道体験会「初春の香りを楽しむ」

平成31年1月20日(日)10時・11時・13時・14時の計4回

講師:志野流香道栴島禅徹氏 お点前:佐賀香遊会 及び呈茶 参加者:76名

②お抹茶席:宗徧流・裏千家流／お箏の音色:箏曲穂波会／茶花展:松風会室町御流 ・・・ひなまつり期間の土日祝日に開催

(2) 調査研究事業

①城下絵図に関する内容を含む講演・講座の講師派遣依頼に対し、広く成果を報告す機会を得た。また、先祖調べなどの問い合わせに対応した。

②佐賀市文化財保護審議会・佐賀市歴史まちづくり協議会・構口公園整備検討委員会・三重津海軍所跡ガイダンス施設基本計画策定委員会・佐賀城本丸跡調査指導委員会などの委員として発言の機会を得た。

1) 城下絵図の読み解き、文献資料の調査解説、データベース化

佐賀城下の魅力の掘り起こしや今後の歴史的まちづくりに活かすための調査研究を行った。鍋島家文庫のうち藩士褒賞の記録「褒賞録」の解説・活字化、データ整理、編集作業を行った。また、継続して藩士名簿のデータ整理、入力作業を行った。

2) 企画展のための調査研究

上記企画展開催に当たり、大型概説パネル作成や展示品抽出のための調査研究。

3) その他

収蔵品総合目録作成のための収蔵資料の写真撮影を実施。

13代鍋島直泰氏収集蝶コレクションのデータベース化(吉田喜美明先生へ委託)

(3) 収蔵保管事業

収蔵庫は24時間空調で対応

年2回収蔵庫空調設備の保守点検及び消防点検を行った。機械室の加湿器水漏れ発生により、2台新規取替。

(4) 施設の貸与及び保全

1) 施設の貸与

維新博関連展示の開催で徴古館2階の利用は限定的であった。

①まちづくり実行委員会定例会6回のうち1回(31.2/20)本年度6回開催のうち5回は佐賀バルーンミュージアムを借用・・・さが城下まちづくり実行委員会

②佐賀城下案内板検討会9回(4/18・5/25・9/26・10/22・11/21・12/19・1/16・2/20・3/20)・・・佐賀市都市デザイン課

③濠端9館会議(31,3/6)・・・今回より佐賀バルーンミュージアムが加わり、濠端9館会議に変更

④佐賀植物友の会研究報告会(31.1/27)・・・佐賀植物友の会

⑤生花教室 21回(4月～3月)・・・室町御流

⑥鍋島文化を支える会総会(5/10)

⑦春の煎茶席(31.3/9～10)・・・日本礼道小笠原流

(公1)[Ⅱ] 史跡等の保存事業及び顕彰事業(定款第4条第1項第2号に定める事業)

史跡等の保全のため、以下の8件について除草等を実施し、訪問者により良い環境を整えた。

- (1) 鍋島家春日御墓所
- (2) 十可亭跡公園
- (3) 高傳寺墓所及び御位牌所(佐賀市史跡)
- (4) 鍋島直茂誕生地・胞衣塚(佐賀市史跡)
- (5) 築地反射炉跡記念碑(佐賀市史跡)
- (6) 萬部塔と六地藏(佐賀市史跡)
- (7) 弘道館記念碑
- (8) 善応庵墓所

(公1)[Ⅲ] 研究助成事業(定款第4条第1項第3号に定める事業)

平成30年度は、以下の4件を助成対象に決定し、合計100万円を平成30年4月3日に授与した。1年間の研究成果を平成31年3月末までに報告。31年(令和元年)6月1日に研究成果の報告会を実施する。

- | | | |
|--|-----|----------|
| 1 西留いずみ(國學院大學大学院文学研究科博士課程後期3年)
「近世後期白石鍋島家における蘭学の展開」 | 助成額 | 250,000円 |
| 2 瓜生美智子(異文化間コミュニケーション研究者)
「17世紀のグローバリゼーションと肥前磁器生産の技術革新とのかかわり」 | 助成額 | 250,000円 |
| 3 吉住磨子(佐賀大学芸術地域デザイン学部教授)
「イタリア時代の百武兼行研究」 | 助成額 | 250,000円 |
| 4 中村知裕(筑紫女学園中学校・高等学校教諭)
「龍造寺氏の勢力拡大とその実態—五州二島論再考—」 | 助成額 | 250,000円 |

平成29年度の研究成果は平成30年6月2日に研究報告会を開催し、成果を広く公開する機会を設けた。なお、平成29年度及び30年度の研究成果を1冊に纏めた『公益財団法人鍋島報効会 研究助成 研究報告書 第9号』は令和元年度に出版する。また、平成31年度研究助成の選考会は平成31年2月4日に開催し、4件に決定した。

(公1)[IV] 一般助成事業(定款第4条第1項第3号及び第4号に定める事業)

以下の12件を助成対象とし、各団体に合計272万円を助成し、各事業の遂行に寄与した。

1 松浦党研究連合会 (『松浦党研究』及び資料集の刊行費補助)	助成額	100,000円
2 公益財団法人佐賀育英会 (松涛学舎の鍋島文庫図書整備費)	助成額	100,000円
3 佐賀県中学校体育連盟 (大会の入賞盾及び優勝旗2本新調費)	助成額	400,000円
4 佐賀美術協会 (美協展での「鍋島報効会賞」4部門への授与)	助成額	80,000円
5 佐賀県なぎなた連盟 (ジュニア育成のためなぎなた・防具の購入費)	助成額	200,000円
6 佐賀植物友の会 (機関誌『佐賀の植物』発行費及び標本データベース化補助)	助成額	600,000円
7 佐賀自然史研究会 (会誌『佐賀自然史研究』発行費補助)	助成額	150,000円
8 佐賀県菊花愛好会 (佐嘉・松原神社への献花補助)	助成額	50,000円
9 NPO法人国際下宿屋 (留学生への住居支援のため建物賃料補助)	助成額	90,000円
10 佐賀ん町屋ば甦らす会 (松原神社参道で町おこしの活動拠点の提供)	助成額	600,000円
11 早稲田大学理工学術院 (近代科学技術のルーツを求めて、早大生による佐賀藩理工学探訪マップの作成)	助成額	250,000円
12 佐賀市民吹奏楽団 (佐賀市民吹奏楽団第40回記念定期演奏会支援)	助成額	100,000円

(収1) 不動産賃貸等に関する事業(定款第4条第1項第5号に定める事業)

収益事業の全体収入は借地返還後の活用等もあったが、前年度より若干減少した。地代滞納も発生しており、貸地料収入の減少傾向は続いている。問題案件について対処しつつ収益改善に努めている。松原及び新馬場の土地活用についても将来構想の検討を継続している。

	(平成30年度実績)	前年度比
貸地料収入	15,837,960円	-2,438,050円 (減少)
家賃収入	10,662,000円	-540,000円 (減少)
駐車料収入	29,692,370円	2,031,132円 (増加)
雑収入	1,272,233円	13,841円 (増加)
計	57,464,563円	-933,077円 (減少)